

## 平成26年度「みえの現場・すこいやんかトーク」(鳥羽市)の概要

12月23日(火・祝)に「相差女性活動センター(鳥羽磯部漁協女性等活動拠点施設)」で「みえの現場・すこいやんかトーク」を開催しました。

当日は、鳥羽市の地域の資源活用と振興に取り組む『相差』のまちで頑張る皆さん8名に、活動内容や課題、行政へ期待していることなどについて、ご意見などをお伺いしました。



### 【参加者からの発言】

代表から、団体の活動について紹介していただいた後、メンバーの皆さんから、自身の主な活動の報告を含め、自己紹介していただきました。

○相差町は、海女漁や、刺し網、小型定置などの漁業と、女性の願いを一つかなえてくれる神明神社の「石神さん」などの観光の町である。その中で、地域の魅力を活かして、暮らしやすい町を実現することを目指して、町づくり推進委員会をはじめ、町内会、海女文化運営協議会、若女将の会、スポーツ文化クラブが協力して、様々な取組を行っている。

Q. 活動について、こんなことも頑張っている、こんな喜びの声を聞いた、まちがこう良くなったなどの成果をお聞きしたい。

○観光関係では、石神さん、海女文化資料館、海女小屋と取り組んできたが、平成20年当時と今を比べると、右肩上がり、観光客が増えていることが自慢である。

○相差町は、鳥羽市内で自治会に女性委員が初めて設置された町で、女性側から、石神さんの取組への意見を言ってきた。

青少年育成会ではみんなが挨拶する元気な町にしたいということから、小中学生の挨拶運動に取り組んできたが、今では元気な声が飛び交うようになってきて嬉しい。ここでは昔から夏に道普請があるが、世代を問わず各家から一人は出てきて、皆で協力して草刈りや溝掃除をしており、非常に絆の強い町だと思っている。

この地域は今年で103回目となる軍艦「春雨」の供養祭を大事にしており、老人クラブとしても殉難の碑の周辺美化など観光施設の充実に協力している。

相差は女性が頑張っているというが、ここでは8割程度のお嫁さんを他の町から連れてきており、男性も頑張っているところである。

子育てサロンでは、この町に嫁いだ女性が和気藹々と話をしているが、津波の心配はあっても、こんな良いところに住んでよかったと言ってくれるようになった。

ここは海女の町で、その海女さんを今まで支えてきたおばあさんが元気である。最近、他の町から嫁いだ方が、新しく海女になってもらい有難いと思っている。

女将の会を作って、10月8日の鳥羽の日には、ウニ飯を108円で売ったりして頑張っている。この魅力は、地域が密着し、地域の人に支えられていることだと思う。

観光客が右肩上がりに増えているが、これは地元と行政がタッグを組んだ形の成果が出てきたからだ嬉しく思っている。経済効果も相差町だけではなく、鳥羽市全体としての大きな喜びと感じている。

#### **Q . 活動していく中での課題等、今後につなげていくことについてお聞きしたい。**

軍艦「春雨」が沈んだ場所が、夕焼けがきれいで非常に景色の良い所なので、次はそれを観光名所として売りたいと思っている。

さらに多くの観光客に来てもらうためには、道路の整備が必要である。県も重点的に鳥羽磯部線の相差から松尾までの間と鳥羽二見ライン、白木インターからこちらまでのアクセスの関係等をやってもらっているが、スピード感をもって進めて頂けたら、地域としてありがたい。

地域医療の関係では、観光客も多い中で、地元の診療所の在勤医師が空白となっている問題を早期に解決して頂きたいと思っている。

今後、地域が継続していくためには、少子化の問題の抜本的な対策が必要と思うので、町づくり推進協議会としても石神さんに絡めたような花嫁対策というのが、できないかなと考えている。

#### **【知事の発言】**

○相差だけでなく、鳥羽の地域がみんな、連携して繋がって、全体が良くなる方が、相差にとっても良いと思う。

相差は団結して頑張ってきた成果があり、地域の観光などの成功モデルとして、今後も飛躍してもらいたいし、県としてもPR活動など共に頑張りたい。

○道路については一度に整備することは難しいので、柔軟整備として待避所などを作るなどの対応をしている。松尾バイパスも、今年度、道路概略設計に着手する予定であり、一日でも早く、共用開始していけるように頑張っていきたい。用地買収や土捨て場などに地域の皆様のご協力をお願いしたい。

今、志摩病院から週2回、医師を派遣している。我々も全国を回って、医師会の関係や三重県に今いるお医者さんの大学の後輩などに当たっているところである。

医師確保で成功しているところは、町をあげての歓迎とか、町が住みやすいという要素があるので、我々もしっかり頑張るが、町内の皆さんも相手がさらに魅力的になるように頑張ってもらえるとありがたい。

12月22日に県内の婚活イベントや、地域の花嫁対策を応援する「みえ出逢いサポートセンター」を作ったので、登録してもらったら、相模町内会で行う花嫁対策も全国に情報提供する。

少子化対策では、鳥羽市は、例えば、保育所への支援や赤ちゃんに対する物品の支給など三重県の中でも一生懸命やって頂いている。さらに鳥羽市が充実してもらう場合は、県もサポートをしっかりとって行きたいと思う。



「相模」のまちで頑張る皆さんは、次の5団体の皆さんです。

- ・相模町街づくり推進協議会は、地域の魅力を活かし、暮らしやすいまちを実現するために、町内の各種団体等で構成された団体です。
- ・相模町内会は、町内の住民相互の連携、諸行事の実施により、良好な地域社会の形成及び維持発展に寄与することを目的とした団体です。
- ・相模海女文化運営協議会は、現役の海女さん、町内の各種団体で組織され、海女小屋等の運営など、海女文化の保存、継承、発信の活動をしている団体です。
- ・若女将の会は、相模のホテル、旅館、民宿の女将達で構成されており、来訪されるお客様の満足度向上や地域の魅力のPRを目的として活動している団体です。
- ・長岡スポーツ文化クラブは、地域の力を活かし、「子どもからお年寄りまで気楽にスポーツや文化活動に親しむ」ことができる環境づくりに取り組む団体です。